

- 1. しごとに誇りを持ち、栄えるまちをつくります。
- 1. きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- 1. からだをきたえ、明るいまちをつくります。
- 1. 教養をたかめ、文化のまちをつくります。
- 1. たがいに助けあい、美しいまちをつくります。

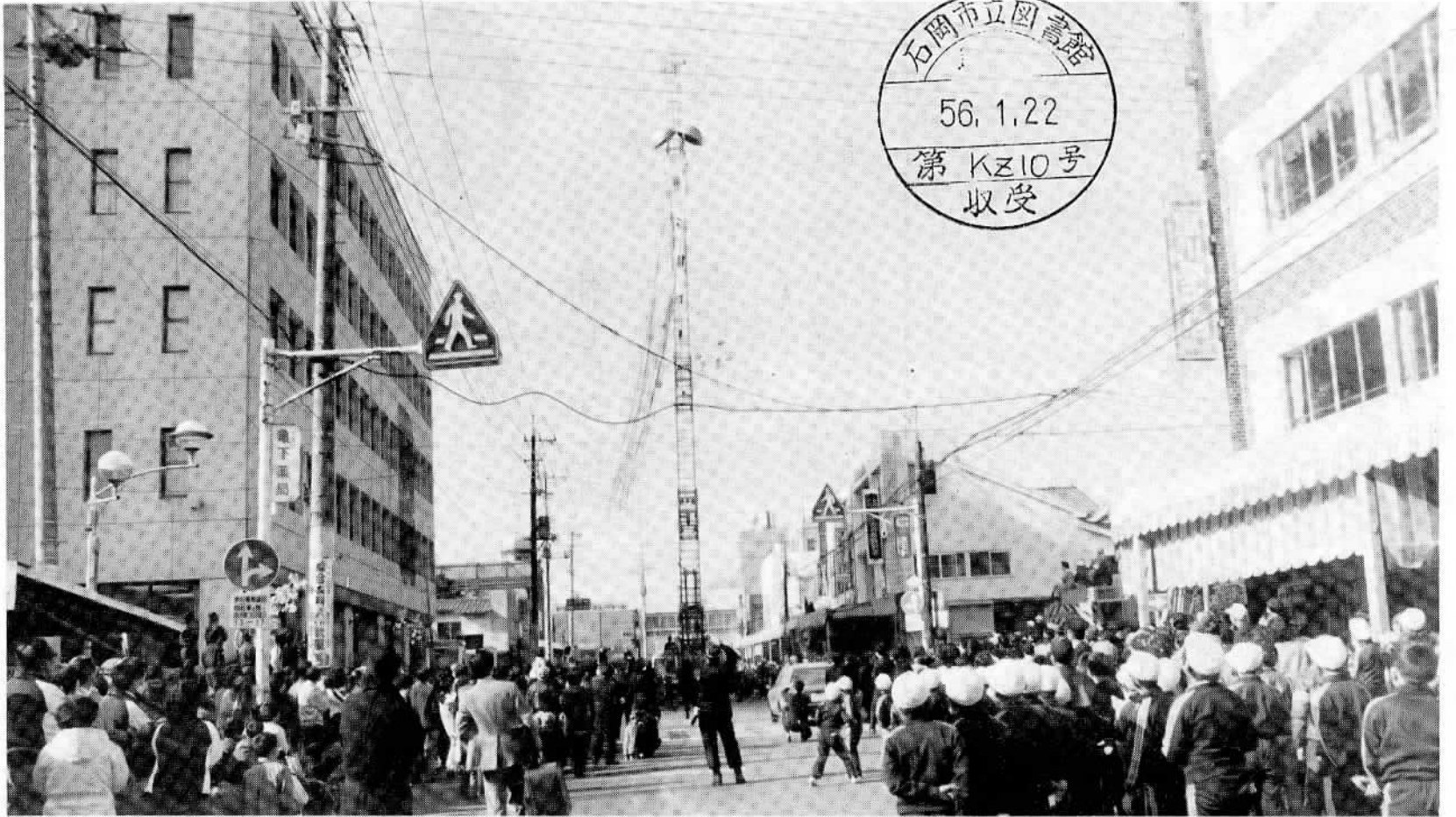
# 市報 いしおか 1月号

発行：茨城県石岡市役所 〒315 石岡市大字石岡3165番地の2  
 昭和56年1月15日発行（毎月1回15日発行）昭和44年6月9日第3種郵便物認可 定価1部5円

市の人口  
 （1月1日現在）

世帯数  
 13,524世帯 20世帯増

人口  
 男 23,927人 35人増  
 女 24,570人 25人増  
 計 48,497人 60人増



## 新春消防出初式

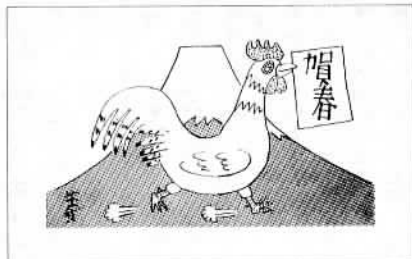
さる一月十日、恒例の消防出初式が行われ、このほど新しく配置された、ハシゴ付消防ポンプ車の披露が御幸通りで行われました。

## 新たな前進のため積極的に



市長 山本吉藏

明けましておめでとうござい  
 ます。  
 輝やかなしい昭和五十六年の新  
 春を迎え、みなさまのご健康を



新年おめでとうござい  
 ます。  
 昭和五十六年の新春をお慶び申  
 し上げ、市民皆様のご健勝とご  
 多幸を、心からお祈り申し上げ  
 ます。  
 昨年、社会経済情勢は、混沌  
 としており、財政再建、行政改



議長 大山安一

不安定による、  
 低経済成長の  
 と、自然増収も  
 期し得ない、き  
 びしい財政状況  
 下において、財  
 源確保に意を用  
 いながら、勤労  
 青少年ホームの  
 建設事業をはじ

## 豊かな地域社会づくり

まいりたいと存じておる次第で  
 ございます。

昨年、経済活動の不活発、

ご承知のとおり、八十年代は  
 地方都市づくりの時代といわれ  
 都市形成のあり方が、各方面で  
 論議をよんでおります。  
 戦後、各都市は戦災復興から  
 地域開発、産業基盤整備の時代  
 を経て、都市整備が着々と進め  
 られ、主に都市基盤整備に力が  
 そそがれ、人間が住むという視  
 点、人間の居住環境、人間都市  
 への配慮は、必ずしも十分では  
 なかったかと存じます。

本市の、今後十カ年間の総合  
 計画改定構想の作業が現在進め  
 られておりますが、前記主旨を  
 充分ふまえて、今後予想される  
 新たな課題を先どりして、都市  
 づくりの何が必要かを、良くみ  
 きわめ新しい都市像を描き出し  
 てまいりたいと存じます。  
 何とぞ市民各位のご協力とご  
 鞭撻を、切にお願い申し上げます。  
 年頭にあたりましてのあいさつ  
 といたします。

## 新年のあいさつ

みなさまのご協力をいただき  
 市長就任以来一年間市政推進の  
 ため全力を傾注してまいりまし  
 た。おかげをもちまして、昨年  
 は市民の方々待望の図書館・府

め、教育施設の拡充整備、土地  
 基盤整備、下水道工事、児童セ  
 ンター建設など、一連の公共事業  
 の完成または順調な工事の進展  
 をみておりますことは、地権者  
 並びに関係者のご理解あるご  
 協力の賜ものであり、感謝と敬

しかしながら、近時、市民の  
 意識・価値観が、これまでの「物  
 的充足」から「質的充足」の方  
 向へ、大きく変って来たに伴  
 い、これからの新しい都市づく  
 りの重点も、これまでのような  
 単なる施設整備中心の計画でな  
 く、そこに人間が住み、働き、  
 憩うという、人間に視点をおい  
 た、人間尊重・生活優先の都市  
 づくりが極めて重要であります。

せんが、昨年は国の内外におい  
 て、まさに激動の年であったこ  
 とを思えば、その感一入という  
 ことであります。

中地区公民館の竣工をはじめと  
 して、駅構内跨線人道橋・府中  
 小中学校の増改築などの完成を  
 み、また、まちづくりの基礎と  
 なる公共下水道・道路などの諸  
 事業も順調に進捗してまいりま  
 した。さらには、住み良い環境  
 づくりや社会福祉の充実など市  
 民生活に直結した諸施策も鋭意  
 すすめることができました。

現在の石岡市をとりまく諸情  
 勢は、国経済の長期にわたる低  
 滞から、まことに厳しいものが  
 ありますが、市政は市民のため  
 にを基本として新たな年に新た  
 な前進のため積極的に取り組ん  
 でいく所存です。市民のみなさ  
 ん市政に対し倍旧のご協力を賜  
 わりますようお願いいたします  
 とともに、みなさまがたのご多幸  
 を心からお祈り申し上げます  
 新年のごあいさつといたします。

心からお祝い申  
 上げますとと  
 もに、平素から  
 の市政に対する  
 ご理解とご支援  
 に対し深く感謝  
 申し上げます。  
 年改まつて良  
 き年であること  
 を願ってやみま

本年も引き続き、各種事業・  
 施策の推進には万全を期してま  
 いりたいと思っております。特に駅東  
 地区の区画整理事業は、これか  
 らの石岡市の中心的事業の一つ  
 として、住民の方々のご理解・  
 ご協力を得ながら、理想的な居  
 住環境創出のため全力を傾注し  
 ていく所存です。また、県事業  
 により建設を進めてまいりまし  
 た石岡有料道路（六号国道幸町  
 下）（柏原）の開通が四月に予  
 定されており、市街地交通緩和

の一助となるものと期待してお  
 ります。さらに、石岡市の多く  
 の懸案の事業について、これら  
 を計画的に推進していくため、  
 現在、五十六年度を初年度とし  
 十カ年を計画期間とする第二次  
 石岡市総合計画の策定を進めて  
 おりますが、これに基づき石岡  
 市のよりよい将来像に向って事  
 業・施策の推進を図ってまいり  
 ます。

# 年のはじめにあたって わたしの願い

石岡中三年 吉川 弘美



現在の石岡市は、私の小さい頃に比べて、ずい分変わったように思います。

道路や住まい、そして運動施設など、いろいろな面で設備も整って来ました。でも、私達市民はどうでしょうか。確かに交通の面でも医療設備などにも、力が注がれ便利になりましたが、市民の協力や市に対する考えは、あまり進歩がないように思います。ただ新しいものを求めて、生

活を築きしようとする、これではいけないと思います。環境もよくなると共に、市民の心も進歩させていくことが必要なのです。例えば、広場などを使うにしても、これから使う人のことも考えて、大切に使用しては行かないのに、使ったのは当然だという顔で、かつてに使用したとはゴミだらけというのではせつかくの広場も、もったいないと思います。

それにもう一つ私が望むことは、今まで伝えられてきた、伝は、今年も、市・県民税の申告時期になりました。その他気になることは、市の美化についてです。見苦しい点をなくする必要があります。そのためには、みんなの手で環境づくりに努め、潤いのある街づくりをする事です。

今年も、市・県民税の申告時期になりました。申告は、昭和五十六年一月一日現在における住所地の市町村へ、二月十六日より三月十六日の期間に、提出しなければなりません。申告する際は、印鑑が必要ですので忘れずに持参願います。申告は早めに済ませましょう

## 税の申告時期になりました

### 申告期間

二月十六日(月)から  
三月十六日(月)まで

▼印鑑をわすれずに▲

### 還付の申告はお早めに

昭和五十五年分の所得税の確定申告と納税は、二月十六日から三月十六日までとなっていますが、税金の還付を受けるための申告書は、二月十五日以前でも受付けておられます。早く申告すれば税金の還付も早く受けられます。

## 国の進学ローン

申込みは一月から

国民金融公庫では「国の進学ローン」として、進学に必要な資金の融資を行っています。次のような教育施設に進学される方(勤労学生などに限る)で、年収が五三〇万円(事業所得者は三八〇万円)以内の方、  
●高等学校、高等専門学校、短大、大学、大学院。  
●盲学校、聾学校、養護学校の高専部。  
●専修学校(修了年限が高等課程で三年以上、専門課程で一年以上)。  
●農業者大学校、水産大学校、海技大学校、航空大学校、職業訓練(短期)大学校。  
一世帯当たり五〇万円以内。  
▽融資額  
進学する学校の在学期間内、ただし四年以内。  
▽利率  
国民金融公庫の基準金利と同率(昭和五十五年十二月現在、年八・八%)  
▽保証人 一名以上。  
▽返済方法  
毎月元均等返済(ボーナス時増額返済の併用もできます)。  
▽取扱期間  
昭和五十六年一月四日～四月三十日。  
▽申込窓口  
国民金融公庫、銀行、信託銀行、相互銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協。  
※くわしいことは、国民金融公庫土浦支店にご相談ください。  
土浦市中央二二一六  
電話〇二九八(2) 四一四一

# 新春随想



## 新しい年にあたって思うこと

府中二年 木村 桂子

「体力の充実と学力の向上をめざす」という中学生としては、ごくあたり前で平凡な目標ではあるが、これが一九八二年を迎えての私の決意である。私は、入学以来バスケット部に属して活動しているが、試合の後や練習の終わった後に、体調をくずして休むことも多く、その度に体力のなさを反省してきたのである。

こと「特に帰宅後、夕食を待ちきれず、つい、菓子パンやジュースなどを食べてしまったために夕食が少なめであったり、偏りがちな内容になってしまふ。ずいぶん家の者にも注意は受けるのだが、今までのところ

府中のバスケット部の一員として「よい試合」が行えるように、鍛えていく覚悟である。次に、「学力の向上」であるが、運動や食事で育てた体力をもとに、気力を集中して学習を進めていくように努めたい。と

## 税の相談はお気軽に

税金のことでお悩みの方は、税務相談室へどうぞ。経験豊かな相談官が、みなさんの相談に応じています。相談は無料で、匿名や電話でも構いません。

## 昭和本市配分は二五〇ha

すでに二存じのとおり、昭和五十六年度より米の生産調整の第二期対策(昭和五十六年～昭和五十八年)が始まり、全国で六十七万七千ha(昭和五十六年は六十三万一千ha)となり石岡市に對しては二百五十ha(昭和五十五年は百八十八ha)が配分になり、昭和五十五年に比して三十二%、大幅な増加となります。なお、土地改良事業の通年施行が見込めないため、すべて転作で対応せざるを得なくなりま

## 昭和本市配分は二五〇ha

すので、農家の皆さんの特段の理解と御協力をお願いします。

### 第二期対策のあらまし

奨励補助金(10a当り)  
第一期対策より五千円の引下げとなります。  
特定・永年作物 四万八千円  
一般作物(野菜除く)三万三千円  
野菜 二万八千円  
管理転作・新規 三万三千円  
三年経過したもの二万八千円



## 私の将来と市の将来

城南中三年 山田 幸枝

中学校生活も残り少なくなり私も将来について、いよいよ真剣に考えなくてはならない。それは、市の将来とも関係のあることなので、合わせて年の始めに考えてみたいと思う。

なかでできないことなので、是非実現させたいものだ。こういう市になった頃には、私も社会人として、市の人々のために役立つ仕事を何かしたいと思う。希望としては、仕

事他自分の好きなことで活動してみたい。それは音楽である。明るく住みよい街と関連して音楽がいろいろな面でもっと市民の生活の中にとり入れられたらと思っている。

昔は栄えたそうだが、今はほとんど発展が見られない。かといつて度を過ぎるのも考えものである。人々に害を与えるようになったのでは何にもならない。だから、人々に都合のいいよ

うな形で、もつと発展していつてほしいと思う。このための事として、工場の誘致、道路の拡張、下水道の整備などがある。これらには、多くの費用がかかるし、市民の協力が必要だが、計画的に着実に実施していつてほしいと思う。これは、大人の人たちへお願いである。市の発展と共に、私も成長していきわけてある。その道にはいろいろなことがあると思うが何事に関しても一生懸命やりたいと思うし、頑張っていくつもりである。私の活躍できる頃には、前にも述べたように、石岡市がさらに前進したものになつていてほしい。

## 昭和本市配分は二五〇ha

すので、農家の皆さんの特段の理解と御協力をお願いします。

### 第二期対策のあらまし

奨励補助金(10a当り)  
第一期対策より五千円の引下げとなります。  
特定・永年作物 四万八千円  
一般作物(野菜除く)三万三千円  
野菜 二万八千円  
管理転作・新規 三万三千円  
三年経過したもの二万八千円

## 昭和本市配分は二五〇ha

すので、農家の皆さんの特段の理解と御協力をお願いします。

### 第二期対策のあらまし

奨励補助金(10a当り)  
第一期対策より五千円の引下げとなります。  
特定・永年作物 四万八千円  
一般作物(野菜除く)三万三千円  
野菜 二万八千円  
管理転作・新規 三万三千円  
三年経過したもの二万八千円

一人一人が心がけて常に笑顔をやさしい、明るく住みよい街であってほしいと思う。人に道を聞かれたら親切に教えてやり、

なかでできないことなので、是非実現させたいものだ。こういう市になった頃には、私も社会人として、市の人々のために役立つ仕事を何かしたいと思う。希望としては、仕

事他自分の好きなことで活動してみたい。それは音楽である。明るく住みよい街と関連して音楽がいろいろな面でもっと市民の生活の中にとり入れられたらと思っている。

昔は栄えたそうだが、今はほとんど発展が見られない。かといつて度を過ぎるのも考えものである。人々に害を与えるようになったのでは何にもならない。だから、人々に都合のいいよ

うな形で、もつと発展していつてほしいと思う。このための事として、工場の誘致、道路の拡張、下水道の整備などがある。これらには、多くの費用がかかるし、市民の協力が必要だが、計画的に着実に実施していつてほしいと思う。これは、大人の人たちへお願いである。市の発展と共に、私も成長していきわけてある。その道にはいろいろなことがあると思うが何事に関しても一生懸命やりたいと思うし、頑張っていくつもりである。私の活躍できる頃には、前にも述べたように、石岡市がさらに前進したものになつていてほしい。

## 昭和本市配分は二五〇ha

すので、農家の皆さんの特段の理解と御協力をお願いします。

### 第二期対策のあらまし

奨励補助金(10a当り)  
第一期対策より五千円の引下げとなります。  
特定・永年作物 四万八千円  
一般作物(野菜除く)三万三千円  
野菜 二万八千円  
管理転作・新規 三万三千円  
三年経過したもの二万八千円

## 昭和本市配分は二五〇ha

すので、農家の皆さんの特段の理解と御協力をお願いします。

### 第二期対策のあらまし

奨励補助金(10a当り)  
第一期対策より五千円の引下げとなります。  
特定・永年作物 四万八千円  
一般作物(野菜除く)三万三千円  
野菜 二万八千円  
管理転作・新規 三万三千円  
三年経過したもの二万八千円

市議会第4回定例会

市民福祉や農業振興・市道整備に  
1億6,000万円を追加

○ 14議案を審議 ○

昭和五十五年、市議会第四回定例会が、さる十二月五日より十九日までの十五日間、市議場において開かれました。この定例会では、昭和五十四年度石岡市一般会計および特別会計(援産所、国民健康保険、簡易水道事業、下水道事業、駐車場)の歳入歳出決算認定や昭和五十五年度一般会計補正予算など、十議案が提出され、慎重審議の結果、原案どおり可決されました。また、今議会の最終日に、職員の手給に関する条例の一部を改正する条例ほか三件が上程され、審議された結果、原案どおり可決されました。可決された議案の主な内容は次のとおりです。

55年度一般会計補正予算

今回の補正(第六・七号)で二億二千五百五十万円を追加し、一般会計の予算総額は、八十四億七千万円となりました。追加された主な内容は次のとおりです。

○ 歳入  
なお、補正予算第七号は、給与改定による職員の人事費所要経費を増額したものです。

分担金及び負担金百八十八万四千円、県支出金六千三百五十六万三千円、市債二千五百五十万一千四百円、地域営農総合整備事業補助金三千三百八十六万六千円、山王川流域水路整備工事費一千四百万円、恋瀬川左岸第三工区機場設置費負担金二千二百九十五万円、関川地区農業構造改善事業補助金一千三百七十七万円、土木費では、市道整備事業費三千八百八十八万円、正上台住宅集会所建設工事費七百四十九万円、消防費では、中央児童公園内防火水槽新設工事費百七十万円、教育費では、小学校施設整備費三百五十万円、石岡中学校敷地介護委託料七百五十八万一千円、杉並地内少年スポーツ広場整備事業費一千万円がそれぞれ増額されました。

金五百五十六万円、地域農業生産総合振興事業補助金一千七百一十一万四千円、地域営農総合整備事業補助金三千三百八十六万六千円、山王川流域水路整備工事費一千四百万円、恋瀬川左岸第三工区機場設置費負担金二千二百九十五万円、関川地区農業構造改善事業補助金一千三百七十七万円、土木費では、市道整備事業費三千八百八十八万円、正上台住宅集会所建設工事費七百四十九万円、消防費では、中央児童公園内防火水槽新設工事費百七十万円、教育費では、小学校施設整備費三百五十万円、石岡中学校敷地介護委託料七百五十八万一千円、杉並地内少年スポーツ広場整備事業費一千万円がそれぞれ増額されました。

何時か新聞の見出しに「日本最古の紺紙金字経」厳島神社で発見」と見え、さらに「西暦五年の「発願記」——遠く常陸国(茨城)から寄進」という活字に目を注いだ。この記事は日本史の上からも、わが県史の上からも見逃し難い問題である。

幸い石岡市の好意によって、私たち市史編さん専門委員数名は八月二十七日史料調査のため厳島神社に向った。石岡駅六時二十分乗車、新幹線利用、フェリーボートで宮島に着いたのは二時半を少し過ぎた頃であった。

また「前常陸河内清澄願」とある。「前」というから河内清澄が常陸であったのは正暦五年以前のことであり、発願したのが正暦五年甲午であった。云いかえれば河内清澄が常陸を勤め、後京に帰り、恐らく晩年藤原行成に依頼して納経をつくり、どこかの寺院に奉納したのであろう。



▲ 1人暮らし老人宅へ…火災警報器取付け消さきほど、市洋防本部では、石中学区婦人防火クラブ(高橋福代会長)を1日婦人消防官に任命し、市内の1人暮らし老人宅を訪問、防火診断を行い、ライオンズクラブの協力による警報器(40戸)の取付けを行いました。警報器を発見すると、バーンバーンという連続音を隣り近所にも聞えるため、市民の皆さまの協力をお願いします。



▲ 孤児院へと…石岡中生徒10万円寄付さる12月24日、石中生徒会JRCでは、全生徒から一円玉募金を行い、この1年間に集った10万円を孤児院にあげてほしい…と市社会福祉協議会へ寄付されました。社協ではさっそく土浦市の「窓愛園」へお届けしました。(募金を渡す小林茂君)



▲ 社会福祉にと百万円寄付さきほど、故青木義一郎氏の遺族より「社会福祉のために役立ててほしい」と百万円を寄付されました。

まちのできごと



▲ 父兄70人が参加・家庭教育講習会さきほど、府中地区公民館で筑波大教授を迎え「小学生の勉強と父親・母親のあり方」をテーマに講演会が行われ、父兄ら70人が受講されました。その中で「勉強そのものではなく、それ以前の人間形成が大切」と話しておりました。



▲ 市内の心身障害者に…クリスマスの集いさる12月21日、社協では、市内に住む心身障害児を対象にクリスマスの集い(80人参加)を行いました。高校生を含むボランティアの人達の協力で楽しい催しが行われ、参加者にケーキやプレゼントが渡されました。

選挙啓発ポスターで全国入賞  
明るい選挙を、広く児童や生徒にも認識を促すため、石中三年上原三府君の作品が佳作になりました。

家族そろって加入しましょう  
● 県民交通災害共済 ●  
2月1日から56年度加入受付開始  
全加入者の共済期間が3月31日で終了。  
継続加入手続はお早めに！  
◆ 共済期間は、毎月4月1日から翌年の3月31日まで。 ◆ 会費  
年(大) 600円  
月(中) 300円  
お支払見舞金は  
死亡：100万円  
最高傷害：25万円  
身障見舞金：30万円  
お問合わせ・お申し込みは (3)1111  
市役所生活環境部交通安全係 内線237

「厳島神社は市村島姫命、田心姫命、瑞津姫命を祀つてある御社殿の創建は、推古天皇元年(五九二)、現在の社殿は約八百年前に平清盛が造営したものという。この島は昔から神として崇められ、人は住まなかつた。社殿を海水のさし引きする所に建てたのはそのためであった。丹塗檜皮葺の变化に富む建物が、着い海を前に、翠の山を背にした景観は誠に美しい。周囲僅かに三〜四キロメートルであるが、千四百余种の植物が繁り、学術的にも重要な所といわれている。(現在の人口は約四千)

市史編さんだより ③⑥  
厳島神社の紺紙金字経を見る  
専門委員長 豊崎 卓

次に注意を惹いたのは、紺紙の欄外の初めの所に小さな金字と記されていた。すると、如何にも活字のある筆使いであった。最初の白い和紙の墨書の添い書きは、平安時代三蹟の一人藤原行成の自筆納経と記されていた。

さて箱書の銘をみると、金剛資重、応永二十六年八月、厳島神社に寄進した旨が記されている。推測が許されるならば、この納経は京都の某寺院に奉納されていたものを真言宗系かと云われる重清という僧が、室町時代の戦乱を避けるため、遠く厳島神社に寄進したものであるまいか。

前常陸河内清澄願 正暦五年甲午  
と書き記されている。従来日本最古の納経は藤原道長が寛弘四年(一〇〇九)に大和吉野の金峰寺に納めたものである。正暦五年の年号はこれよりも十五年古く、名高い平安納経より一七〇年も古いことになる。この記載は重要な意義をもつものと云えよう。

